

現在、15ヶ国の学習者が日本語会話を学んでいます

市岡高校開放講座は大阪府教育委員会の認可する日本語会話を中心とする開放講座です。目的は、在日外国人に日本語の日常会話などの指導を主としてボランティアと学習者の交流を通して言葉の支援をすることです。去る10月25日、大阪府議会文教委員会で当協会の副理事長、河原府会議員がこの開放講座の運営をどう考えているかの質問に、教育委員会は「地元に着した市岡高校開放講座に深い理解……」を示しました。

会報

Ichioka

1996/12/1
3号

大阪府立市岡高校開放講座の後援団体＝市岡国際教育協会会報
発行人／八木正一／編集／会報編集委員会
大阪市港区市岡元町2-12-12 市岡高校内／06-582-0330

市岡高校開放講座

日本語日常会話講座

●教室＝大阪府立市岡高校●

- 金曜日クラス（毎週）
午後7時～8時30分
- 土曜日クラス（第1、第3、第5）
午後3時～4時30分
- 授業料無料

市岡高校開放講座を後援する 市岡国際教育協会の運営にご協力を！

今後、市岡高校開放講座を支える優秀なボランティアを、今後約100人ぐらいの規模に増やし、学習者が安心して高いレベルの教育が受けられるようにしたいと思います。その為に必要な財源を確保しなければなりません。

頂いた会費は、ボランティア研修会の補助や各々の国の家庭料理教室の材料費、学習者とボランティアの懇親会等への補助、またイベント開催への補助、会報制作費、事務通信費などに使わせて頂きます。よろしくお願ひ申し上げます。

（会計・八尋愛子）

年間会費は1口2,000円です。
市岡国際教育協会
郵便振替口座番号 00900-4-95748



ギョウザの皮づくりを指導する林さん

第一回料理教室 中国家庭料理の 手作り水餃子

「私は四〇個は食べました」

市岡国際教育協会ボランティア
NHK大阪放送局ディレクター
西ヶ谷 力哉

イベント予告

今年最後の会話教室は オープンスタイルの ティーパーティー！ 全員集合。

- とき 12月13日（金）
午後7時～9時
- ところ 市岡高校会議室
- 会費 無料
- 申込は 事務局まで



片楓さん（ギリシャ出身）

第一回カラオケ大会開催

「NHKのど自慢大会」で
優勝出来そうな
柏原ヨランダさん
木下アラセリさん！

市岡国際教育協会ボランティア（理事）
小島 千恵子

珍妙な形のギョウザがお盆の上に並んでいる。大きいもの小さいもの、イチヨウの葉っぱみたいなべっちゃんこのもの、バラエティに富んだギョウザだ。ボランティアも学習者も実に様々な個性と文化を持つ人達が集う市岡高校開放講座の様です。

今回、はじめての試みである水ギョウザ教室の模様をご紹介します。藤井さんや小島さんたち主婦のみなさんのギョウザはさすがに美しい。皮の折り目の一つ一つが丁寧で、形がそろっている。家庭で作る「母のギョウザ」を忠実に再現している様だ。そして意外（失礼）だったのは、手さばきのよかつたのが山根さん、ギョウザの丸め方が様になっている。聞くに板前として矧しを握った経験がありがたで「昔取った杵柄」だとか。家庭で優しい「クッキングババ」の図を想像してしまつた。

個性的なギョウザは、私を含む独身者や柏原さんなどフィリピン出身のみなさんの作品。おそらく初めて作る、初めて食べる水ギョウザだろう。キャキヤワイワイいながらなかなか作業が進まなかつた。

市岡国際教育協会主催 ボランティアと協会役員 合同懇親会

- とき 12月7日（土）
午後6時～8時
- ところ 居酒屋「青山」五八三―四二九
港区市岡元町三一九―一七
- 会費 二,〇〇〇円
- 申込は 事務局まで

市岡高校開放講座の日本語日常会話講座の二学期も残すところ後数回となりました。去る十一月二十四日（日）、港区弁天四丁目喫茶「ヒロミ」にて学習者とボランティア二十二名がカラオケ大会に集いました。

歌は苦手なものでいいながらも、なかなか皆さん口頃しつかりと月謝をつぎ込んでいらつしやるよううかがえました。

中国帰国子女の徐さん、劉さんの哀愁こもる歌声は生まれ故郷への思いがひとしほ感じられました。ギリシャ出身の片楓さんの「MISSISSING YOUNG」は、新鮮でもとも可憐な楓さんにピッタリの歌でした。

そしてフィリピン出身の柏原ヨランダさんと木下アラセリさんの歌唱力は、のど自慢大会に出場すれば優勝すること間違いなしというくらいすばらしい喉の持主でした。少し遅れて参加されたご主人とデュエットされる姿はとも仲むつまじく微笑ましかがりで「愛の賛歌」の熱唱にはうっとりさせられました。

また、今回が初参加だという定時制十六期の越本さんは会報市岡第2号でこのカラオケ大会を知り参加されプロ顔負けのパツグンの歌唱力を披露されました。

そんな中、なんと言っても見事だったのは、今回のギョウザづくりの先生、林さん、董さん、劉さん。日頃は学習者であるがこの日はばかりは、ギョウザの大先生。生地を練り、麵棒でギョウザの皮を素早く次々と伸ばしていく。

その先生の一人、林さんは自分はほとんどギョウザを口にせず「どうぞどうぞ」「おいしいですか？」と勤める表情の嬉しそうなこと、みんなに具の包み方を教えるときの声の大きなこと、一つ一つに林さんの自信と喜びを感じることができた。

みんな、日本語が少々苦手でもいいじゃない。自分の得意なものを出し合つて楽しいことが出来ればいいじゃない。なんて勝手なことを考えながら、次回のおいしいフィリピン、韓国料理を楽しみにしていきます。

みなさんへ
みなさんのお蔭で日本語の日常会話講座は順調です。この講座は学習者（主に外国人）への言葉の支援を通じて国際交流を行うことが主な目的です。

●ボランティアを募集しています
経験がなくても構いません。ご希望の方はご連絡下さい。



左、木下アラセリと柏原ヨランダさん（フィリピン出身）



右から劉さんと徐さん。左端は浅田教頭。